**防災地学特論　９. 大雨による災害 課題**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号 | 7522540 | 氏名 | 土山雄飛 |

以下の１ページ目（課題１）から３ページ目（課題３）にある課題について解答せよ。

課題１　可降水量は多くても70mm程度しかないが、局地的大雨や集中豪雨では、可降水量を超える数100mmの大雨となることが多い。このように局地的大雨や集中豪雨で可降水量を超える雨が降る理由を説明せよ。

―――――以下課題１解答欄―――――

課題２　川での魚釣りやキャンプなどのときに、たとえ自分のいる場所で晴れていても、川の水が急に増水し危険な状態になることがある。このように晴れているにもかかわらず川が増水する理由を説明せよ。

―――――以下課題２解答欄―――――

課題３　気象庁が「大雨注意報」、「大雨警報」、「大雨特別警報」を発表したときに、それぞれのタイミングで住民が取るべき行動（土砂災害の場合）を２〜４行程度で述べよ（この課題に限っては資料からのコピペで構わない）。

―――――以下課題３解答欄―――――

大雨注意報のとき

→

大雨警報のとき

→

大雨特別警報のとき

→